

## 全日本カレイ3位入賞 イシガレイ 47.6cm

大阪協会 サーフ・スキッパーズ 小笠 喜隆

能登会場のエントリーは大人数で、スタートの順番は抽選になった。  
しかし9番スタートで(幸運は既に始まっていた!)、狙っていた嶋島ポイントに、クラブメイト4人が並んで釣り座を構える事が出来た。

釣り始めてしばらく、魚からのシグナルはない。  
ただひたすら、竿先に集中する。  
ようやく7時過ぎにコッと竿先に反応が・・・小さいながらもお目当ての24cmのカレイをゲット！  
しかしその後アタリはすっかり遠のいた。



とうとう正午の時報、ひょっこりひょうたん島♪がこだまする時間となった。  
雲っていた空からは雨も降り出していた。  
コンディションもあまり良くない。  
時間もあまりない。

このままで終わってしまうか?という不安が頭の中をよぎり始めていたその時であった。  
潮が下げから上げに動き始めたと同時に、竿先が強烈にお辞儀をした。  
これは来た!間違いなくカレイのアタリ!!  
時報の合図で、お目覚めのお食事タイムに入ったのか?  
大量房掛けイソメ爆弾に奴が食いついたのだ!

はやる気持ちを抑え、一呼吸おいて合わすとズシツとした手ごたえ。  
弧を描くロッド!興奮の余り「乗った〜デカイ〜」と大声を発した私にクラブメイトが注目する。

緊張の一瞬!かなりの大物だ!しかしポイントは足場が高く、手前にはホンダワラもビッシリと付いている。  
タモは無理、一気に巻き上げゴボウ抜きしか方法はない。



なかなか姿を見せない魚体、最後にはグングン締めこむ。  
「バレルなよ〜」  
奴を上げる間、頭の中は色々な悪い想像が駆け巡り、長いドラマのように感じられた。  
でもなんとか巨体を抜き上げ、ゲットする事が出来ました!!